

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・5月からたばこの自動販売機にタスポが必要となり、持っていない人が店内でたばこを買い求めるため、来客数・売上ともに増加している。前年比来客数で今月は110%と高い伸びを記録した。
	やや良く なっている	コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・たばこの自動販売機にタスポが導入され、コンビニのたばこの売上が大幅に増加した。たばこと一緒に、飲料や菓子を購入する客も多く、全体の売上も増加した。
		コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・今月から導入されたタスポにより、来客数が増加し売上アップにつながっている。
		その他飲食〔ハ ンバーガー〕 （経営者）	単価の動き	・新商品の投入で客単価が下げ止まっており、売上に好影響を与えている。
		設計事務所（経 営者）	それ以外	・官庁からの工事が、同時期に一齐に発注があったため、周辺がどこも忙しくなっている。
	変わらない	百貨店（販売促 進担当）	お客様の様子	・ゴールデンウィークは県外客も多く、土産中心に堅調に推移した。また後半戦の物産展も新商品が人気を集め、期間を通じてにぎわいも見せるなど、相変わらず新しい物への反応は良好である。反面、紳士服については高級ゾーン中心に苦戦が顕著であり、客は価格についてシビアになってきている。
		百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・3月後半から少し持ち直したかに思えた売上高と来客数が、4月、5月とさっぱり伸びず、悪い状況のまま現在に至っている。
		百貨店（売場担 当）	お客様の様子	・前月に引き続き、洋品雑貨や化粧品などは好調に売れているが、一方で衣料の苦戦が続いている。
		百貨店（販売担 当）	お客様の様子	・この春リニューアルを行ったコーナーは前年を上回っているが、依然として婦人・紳士共に衣料品が低迷している。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・来客数は前年比102～103%で推移し、客単価も前年比102%程度で推移している。販売点数は前年比103～104%で推移しており、全体的にこの傾向は変わっていない。商品の値上げのため一品当たりの単価が上がってきており、これが家計に影響するのではないかと気に掛かっている。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・同じ機能を備えていれば単価の安い物を選び、また必要最低限の物しか購入しない客が増えている。
		スーパー（店 長）	お客様の様子	・3か月前と比べて客の買上点数、単価が変わっていない。
		スーパー（経 理担当）	販売量の動き	・商品の値上げが相次ぎ、客の消費マインドが落ち込んでいる。
		コンビニ（エリ ア担当）	お客様の様子	・タスポ導入により、来客数とたばこの販売数は増加しているものの、通常商品に大きな動きはなく、3か月前とほぼ横ばいである。客の様子を見えても、支出を最小限度に抑えようという意図が見えてくるし、衝動買いの買物をしていない様子はない。
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・昨年末に続き、今月中旬2度目の値上げを行ったので、販売量は若干落ちたが、売上には寄与している。後は競合とのパイの取り合いだが、当社が若干有利に推移している。
衣料品専門店 （地域ブロック 長）		販売量の動き	・ゴールデンウィーク中は気温も上がり、夏物の動きが良かったが、それ以降は戻すばみになっている。	
家電量販店（店 長）	お客様の様子	・昨今の燃料代の高騰や諸物価の高騰で、客の消費動向が控え目になっており、家電類も間に合わせ的な単価の安い物しか売れていない。		
乗用車販売店 （統括）	販売量の動き	・4月は暫定税率の関係で、前年に比べ販売台数が伸びたが、5月はその反動で減少した。4～5月の合計で見ると、前年を下回っており、厳しさは変わっていない。		
乗用車販売店 （営業担当）	来客数の動き	・新規来客数が伸びない。		
高級レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・来客数の良い月と悪い月の波があって、どちらともいえない状況が続いている。		

	都市型ホテル (従業員)	来客数の動き	・レストランごとには好不調があるが、全体でほぼ前年並みとなっている。
	通信会社(総務 担当)	お客様の様子	・契約獲得は、前年同期の件数に届いていない。一方解約も、競合他社への切替え等により、相変わらず高水準である。
	テーマパーク (財務担当)	来客数の動き	・ゴールデンウィーク前後の入園者数は、前年と比較してもかなり落ち込んでおり、特に県外からの客が少ない。
	テーマパーク (広報担当)	来客数の動き	・遠方からの客が目に見えて減っているが、近場の客が増えており、この減少をカバーできている。
	テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・ガソリンを含む「物価高」の影響で遠出を控える風潮が広がっているが、当施設においては「遠くなので控える」客も「近くなので出かけた」客も共にいたのか、来客数はほぼ前年並みであった。
	設計事務所(経 営者)	競争相手の様子	・100年以上営業している老舗の工務店が廃業する。また地元大型老舗旅館の2店が破綻した。
やや悪く なっている	商店街(代表 者)	来客数の動き	・4月・5月は人や物の流れが変わる時期だったが、人の流れも変わらず、来客数も相変わらず減少傾向にある。
	商店街(代表 者)	販売量の動き	・様々な商品の値上げで、客は生活防衛のため消費にも慎重で、財布のひもは固い。
	商店街(代表 者)	単価の動き	・当社は貴金属を扱っているが、高価な貴金属はなかなか動かず、天然石の安価な商品が動くだけなので、売上が伸びない。
	商店街(代表 者)	お客様の様子	・これまで少子化・デフレ・オーバーストアに苦しんでいるが、最近これらに物価高・原油高が加わり、客は生活防衛のために購買のハードルを一層高くしている傾向がありありと見受けられる。より良い物をより安くという傾向が一段と強まっている。
	一般小売店 [茶](経営 者)	お客様の様子	・同業者ではないが、近くの店舗で倒産が相次いでいる。こうしたことが影響して悪い噂が客に流れ、財布のひもが固い。
	一般小売店[紙 類](経営者)	お客様の様子	・原油等の値上げで、商品単価がかなり上がっている。購買力が良くないのに、単価だけが上昇して、客の警戒感も強まっている。
	一般小売店[酒 店](経営者)	お客様の様子	・1次会用の飲食店はやや悪い程度であるが、スナック等の2次会用飲食店はかなり悪く、衰退業種の感がある。一般の消費者も物価の上昇と、年金保険料の問題など先行き不安のため、財布のひもは固い。
	一般小売店(経 営者)	単価の動き	・客単価がとにかく上昇していない。来客数も少ない。いろいろな面で、先月・先々月よりも景気が悪くなっている。
	一般小売店[印 章](営業担 当)	来客数の動き	・個人・企業共に印章関係の注文が少なく苦戦しているが、新しいアイデアグッズ商品の展示販売をすることで、何とか前年並みの売上を確保できた。
	百貨店(営業担 当)	単価の動き	・同一商圈内にある百貨店のリニューアルが一段落し、気温も初夏らしくなったが、相変わらず単品買いが多く、バーゲンや値引き販売会でも、コーディネート販売がみられない。
	百貨店(営業担 当)	販売量の動き	・主力のレディス・メンズファッションに新たなヒットアイテムがなく、前年売上を確保するのが難しい状況である。
	百貨店(電算担 当)	販売量の動き	・百貨店の得意とする商品である雑貨、婦人衣料品、貴金属の売上が良くない。また客が直接来店して購入する店頭売上も減少している。
	百貨店(売場担 当)	販売量の動き	・ゴールデンウィークは、1～3日は良かったが、4～6日が苦戦した。特にヤングキャリアの衣料品・サンダルが苦戦し、前年比70～80%の売上となった。母の日も直近が悪く、10～11日は大きく数字を落とし、前年比90%となった。催事の時だけ数字が上がるといいう傾向で、店全体として前年比97%の売上となった。
	百貨店(購買担 当)	お客様の様子	・今まで順調に推移していた食品部門も、食材の値上げ等によって厳しい状況となった。特に、ガソリンや食材の値上げで、客は食品でもセール品を求めようになっている。また、婦人服はぜいたく衣料ということで、平日の来客数も減少し、セールを行っていても本当に安い商品や本当に必要な商品しか購入しない。

スーパー（店長）	お客様の様子	・野菜やパンなどの消費頻度の高い食品でも、安くても必要な量だけしか購入しない傾向が強い。
スーパー（店長）	販売量の動き	・客の購買意欲が、かなり落ち込んでいるように見受けられる。
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・食品の売上高は、4～5%伸びているものの、買上点数がほとんど伸びない。伸びているのは単純に値上げされた分だけで、仕入価格の値上げを考えると、収益が悪化している。
スーパー（管理担当）	単価の動き	・物価上昇やガソリン代高騰により、客は出費を抑える傾向が強い。必要最低限の購入しかしないため、購入点数の伸びも見られず、また客単価の増加もみられない。
スーパー（財務担当）	単価の動き	・販売価格の値上げの影響から生活防衛に走っているのか、既存店の買上点数はやや増えているにもかかわらず、客単価がやや下がっている。
スーパー（経営企画）	販売量の動き	・5月21日現在、食品の値上がりに伴い、1品平均単価が既存店で前年比101.8%で3円の上昇となったが、総販売数は98.03%となった。
スーパー（販売担当）	お客様の様子	・新聞に折込チラシが入った初日は来客数も伸びるが、広告の内容によっては客足が伸びず、景気が悪いと感じている。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・最低限の必要項目であるガソリンの価格が下がらないため、他の物への支出を押さえるしかなく、売上が伸びない。
衣料品専門店（地域ブロック長）	来客数の動き	・土日になると来客数が減少する傾向にある。
家電量販店（店員）	来客数の動き	・週末の来客数が思わしくなく、平日も特に少ない。その分売上も減少した。
家電量販店（予算担当）	販売量の動き	・ガソリン価格の高騰の影響が、財布のひもが固くなっているようである。短期的には仕入れ価格への影響は見られないが、将来的に転嫁されるのは間違いない。
乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・燃料の高騰によって買い控え傾向が非常に強まり、また一段と小型車志向が進んでいる。
乗用車販売店（統括）	お客様の様子	・小さな金額は動くが、大きい買物をしない。客は景気の悪い話をしないし、物価が上がったことが何かと話題になる。
自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・来客数はゴールデンウィークまでは何とか前年実績を上回っていたが、以後前年を下回る日が続いている。いったん下がったガソリン価格が、5月に再度値上がりしたことが影響しているのかも知れない。タイヤの販売数も低調に推移し、また高額品のナビゲーションも前年割れの状態である。
自動車備品販売店（店長）	単価の動き	・単価も低く、安い商品を求める客が多い。
住関連専門店（広告企画担当）	お客様の様子	・とにかくお金を使いたくないという雰囲気、客から伝わってくる。少しでも安く、と言う思いが先行しており、品質にまで意識がまわっていない。
その他専門店【布地】（経営者）	来客数の動き	・地方の商店街は、ゴールデンウィーク時はただでさえ悪いのに、ガソリン高、年金問題等で、買物をする気になれないのか、来客数が今年の5月に比べて悪くなっている。
その他専門店【カメラ】（店長）	来客数の動き	・来客数が前年比90%前半で推移している。特に4月からの極端な悪化傾向が続いている。
その他小売（営業担当）	単価の動き	・客の購入する一品単価が低下している。
一般レストラン（店長）	お客様の様子	・仕入コストの高騰により、今月から我が社も一部商品を値上げした。客の反応は様々であるが、明らかに来店頻度が減っている。
一般レストラン（店長）	単価の動き	・来客数は前年比であまり変化はないが、単価が前年比200円前後落ちている。
スナック（経営者）	競争相手の様子	・我々の業界は飲酒運転取締りが厳しくなったことで、大変厳しい状態が続いている。
観光型ホテル（経理総務担当）	販売量の動き	・県外からの宿泊客の減少が目立つ。特別企画の実施により、個人客はカバーできたが、団体客が主体の宿泊宴会の落ち込みが著しい。

	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・原油高による食料品や灯油の値上がりがコストに大きく影響しているうえに、来客数も減少傾向にある。
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・ゴールデンウィークは家族の宿泊は多かったが、それ以後の週末は前年と比べ激減している。また、館内での食事利用も減っている。
	都市型ホテル (総務担当)	お客様の様子	・原材料が高騰しているが、思うように価格転嫁できていない。客についても物価が徐々に高騰していくなかで、出費に対して厳しくなっている。来月もガソリン等値上げされるとのことで、さらに財布のひもは固くなる。
	タクシー運転手	来客数の動き	・お年寄りの病院通いの仕事は減少していないが、夜の飲み屋街の来客数がかなり落ち込んでいるので、全体的な客数も減少している。
	タクシー運転手	販売量の動き	・運賃を値上げて数か月経過した。当初は値上げした会社は前年比プラスになったが、最近では、値上げした会社もしなかった会社も両方ともマイナスということで、よほどの不景気と実感している。
	タクシー運転手	お客様の様子	・5月の前半はゴールデンウィークで利用客はあったが、後半は今一つで月全体では伸びていない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・5月に入ってからの観光・イベント等は、前年とも変わらないし、3か月前とも変わらないが、客の財布のひもが固く、昼の時間帯は公共交通機関を利用する客が多く、タクシーの利用は減少している。夜の繁華街でも、客足は非常に鈍く、飲食店そのものの閉店も多く見受けられる。今月は期待したが、思うように伸びず悪かった。
	通信会社(企画担当)	お客様の様子	・4月以降のガソリンを含めた生活必需品の値上げが、客の生活に影響を与えていることが明らかと感じられ、新サービスに勧誘しても生活が厳しいからと控える客が多い。
	美容室(経営者)	お客様の様子	・現在2店舗を統合して1店舗にする工事に入っている。ただしそれによっても客が、なかなかこの2店舗以外の既存の店舗に流れていかないので、売上等が下降気味である。
	設計事務所(経営者)	競争相手の様子	・受注減の傾向が強く、同業者は転業、廃業が相次いで先細りの状況にある。
	設計事務所(経営者)	それ以外	・建設物価の高騰は以前から続いているが、特にこの3か月間の鉄材の値上がりは著しい。1年前に予算を組んでスタートしたプロジェクトの設計が完了し、今月工事費の見積を取ったが、予想をはるかに超える金額で、プロジェクト存続そのものが危ぶまれている。
	住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・受注量が1割減となっている。
悪く なっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・隣の市で3月末、大型商業施設が開業し、土・日・連休はそちらに客を取られている。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・あらゆる物が値上がりし、年金や医療に対する不安から、消費マインドが冷えている。
	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・相次ぐ消費材の値上げ、高齢者医療費負担増などで、客は不安を抱えている。
	衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・今月も先月に続き極端に悪化している。イベントに来店した客も、商品にまで興味がない雰囲気である。
	衣料品専門店(販売促進担当)	来客数の動き	・今月はゴールデンウィークが天候も良く期待はしていたが来客数が少なく、ゴールデンウィーク後も普段より夏物の動きが悪く厳しい月だった。特にメンズの買い控えがこのところずっと続いている。
	家電量販店(店長)	お客様の様子	・物価の上昇で、客が先行き不安を感じている。今まで消費にまわっていた金が貯蓄にまわっているようだ。
	乗用車販売店(サービス担当)	販売量の動き	・2～3月は新卒需要、台替え需要が多く、販売台数はそれなりに出ていたが、この5月は計画の50%に届くかどうか、それさえ危ない。
	その他専門店[時計](経営者)	来客数の動き	・年金問題や、石油価格の高騰など、先行き不安で消費が控えられている。ただし本業外に土産物店を営んでいるのだが、今年に入って売上が伸びている。
企業 動向	良く なっている	-	-

関連	やや良くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> ・今月と3か月前を比較すると、沖合底引き網・大中型巻き網船・イカ釣り船が増加したため、水揚げ数量で1,380tの増加、水揚げ金額も2億2,800万円の増加である。単月の前年比では、大中型巻き網船・イカ釣り船が増加したため水揚げ数量で1,270tの増加、率で162.6%、水揚げ金額では1億5,100万円の増加、率で129.6%である。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・新製品の好調な立ち上がりにより、受注量が増加している。
変わらない		化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料・燃料価格の高騰を製品価格へ転嫁できにくくなっている。
		金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・受注量は多く、工場はフル稼働で対応している。
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアを中心に海外向けの自社製品の売上は回復しつつあるが、国内向けは依然として市場環境の悪化により売上が伸びず、苦戦を強いられている。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車関連は欧米・アジア向けが好調を維持しているが、携帯関連の受注が以前より減速しており、先行きも不透明感が増している。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・クライアントからの受注が多くなったところもあるが、受注が止まったところもあり、全体的には変わらない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・建設関連は、本当に悪い状況が続いており、建築では建築確認の遅れ等の解消に伴い、少しは仕事が増えるかと思っただが、こちらも悪いままの状態が続いている。
		通信業（部門長）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・石油価格の高騰で、原材料の値上げが商品全体に波及してきており、景気が後退するのは必至であるが、通信業界においては、通信コスト削減のための提案ができるため、積極的な投資は無いにしろ、市場の閉塞感はない。
		通信業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・法人向け通信サービスの4～5月の新規引合い・受注は停滞したままで、前年同期と比べても下回る傾向である。前年より、新たなメニューの投入が少ないこと等もあって、買い控え的な現象が続いている。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・土木建設業においては引き続き悪く、5月の会計期間でまだ手元資金が足りないという企業がある。これは、完全に赤字資金であり、これまでの受注が現場経費は出ても本部経費が出ないという受注金額で繰り返されたためである。
		金融業（業界情報担当）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・主要受注先では北米輸出が減少しているが、アジア・欧州向け輸出が依然として好調で、受注全体としては高水準を維持している。
やや悪くなっている		食料品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料費も高騰するなか、光熱費も上がってきている。売上もさることながら、利益が逼迫しており大変な状況である。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・大型案件の生産の谷間となり生産量がやや下向きになっている。工事の進捗に合わせた納入のため製造ラインは緊急対応中だが、量的には減産気味である。
		鉄鋼業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料・エネルギー関連費用の値上がりを、製品価格に転嫁できずに苦戦が続いている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・受注量・受注価格とも横ばいの状況が続いているが、原材料価格の値上がりや高止まりに加え、人件費償却費等の負担増など、採算面では非常に厳しい状況が続いている。
		その他製造業【スポーツ用品】（総務担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・原油や各種料金の値上げが相次ぎ、消費動向が非常に低迷してきている。企業においても材料代の値上げが相次いでおり非常に苦しい状況で、また一部部品を中国から仕入れているが、中国では人件費の高騰が続いており、それが部材の値上げにつながっている。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・受注価格については、受注のパイの減少により競争が激化し低落傾向にあり、また資材の高騰により利幅の減少が続いている。
		輸送業（統括）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料費の高騰により業績が悪化している。製品価格に、なかなか燃料費の高騰分を転嫁できない。
		不動産業（総務担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・来客数、契約件数が減少している。

		会計事務所（職員）	取引先の様子	・材料費の値上がりが大きく響いてきている。そのため、建設を含む製造業全般で利幅が低下してきている。
		その他サービス業〔建築物清掃業〕（経営者）	競争相手の様子	・入札において、採算が合わない金額を入れてくることが以前より多くなった。
	悪くなっている	非鉄金属製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・自社の予算等の動きをみても厳しさが実感される。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている			
	変わらない	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・正社員求人は相変わらず伸び悩んでおり、派遣や請負の求人が目立つ。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・求人依頼件数が前月に比べ半減している。求職者の動きは横ばいであることから、企業は採用引締め動いている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・一般事務の受注が前年と比較して9割程度と低調に推移している。企業の人員補充が一段落し、派遣需要全体が落ち着いてきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・いろいろな業種で、売上が減少したというところがかかり増えていて、求人広告にも影響が出ている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人は、建設業、卸売・小売業、サービス業での減少が目立ち、件数・求人数共に減少した。とりわけ減少幅の大きかった建設業では、公共工事の減少に加え、道路特定財源のこれからの動向に伴う公共工事の先行き不安が影響している。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・小規模ながら人員整理の件数が増えており、また仕事量が減少し、収入が減ったという求職者が見られる。
		職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・8か月連続で新規求人倍率が対前年を下回っている。また、正社員求人も減少している。
		民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・地場中堅アパレルメーカーから3か月間求人が続いていたが、5月の下旬に急に欠員補充なしで行くと連絡があった。
	悪くなっている	-	-	-